
教育学部「授業アンケート」(2019年度 後期)の実施について、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

今回の F D ニュースでは、そのアンケート調査の概要と結果について報告します。

2019 年度後期 教育学部 授業アンケートの結果

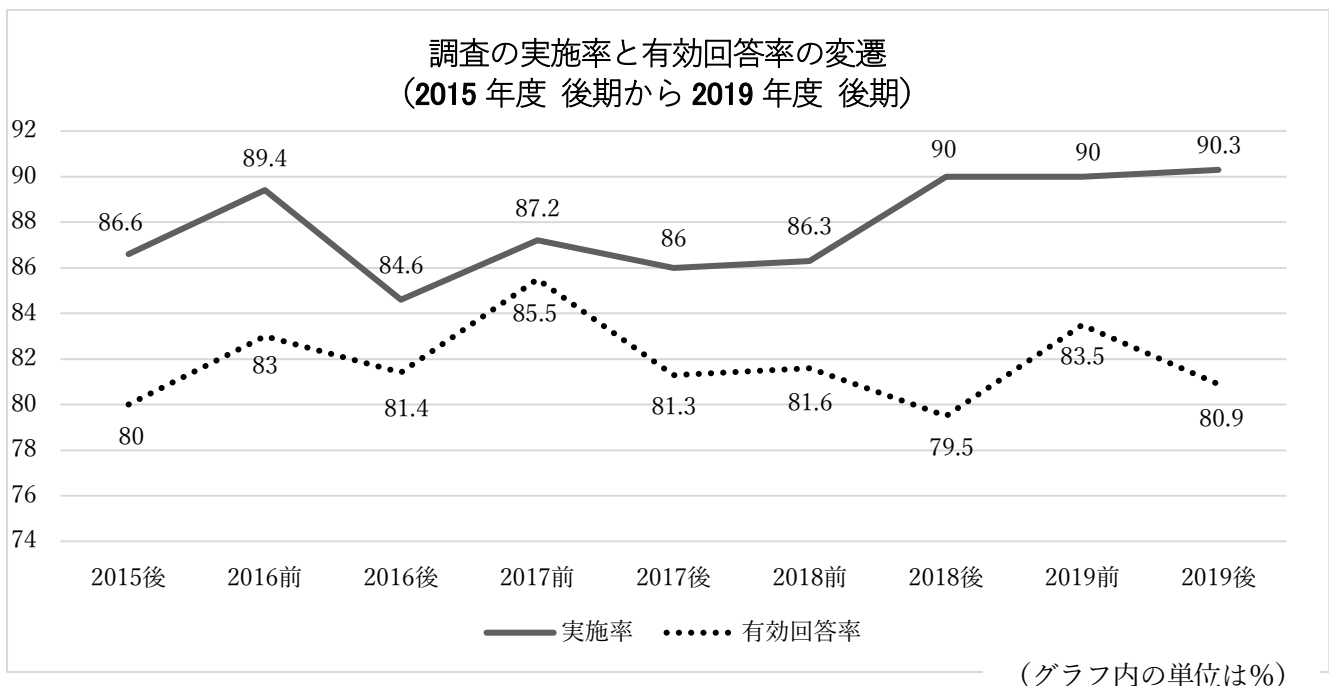
1. 調査の概要

実施期間：2020年1月9日（木）～2020年2月3日（月）

対象科目：受講登録者数6名以上の全科目

実施科目数：330 未回収科目数：32 全白紙科目数：3（対象科目総数：365） 【実施率】90.3%

回答者数：10,707名（履修者数：13,232名） 【有効回答率】80.9%



2019年度後期の実施率は90.3%でした。2018年度後期からほぼ変わらず90%を維持しています。今回は、未回収科目が32科目あり（いずれも受講生数60名以下の科目）、また、すべて白紙で出された科目が3科目ありました。

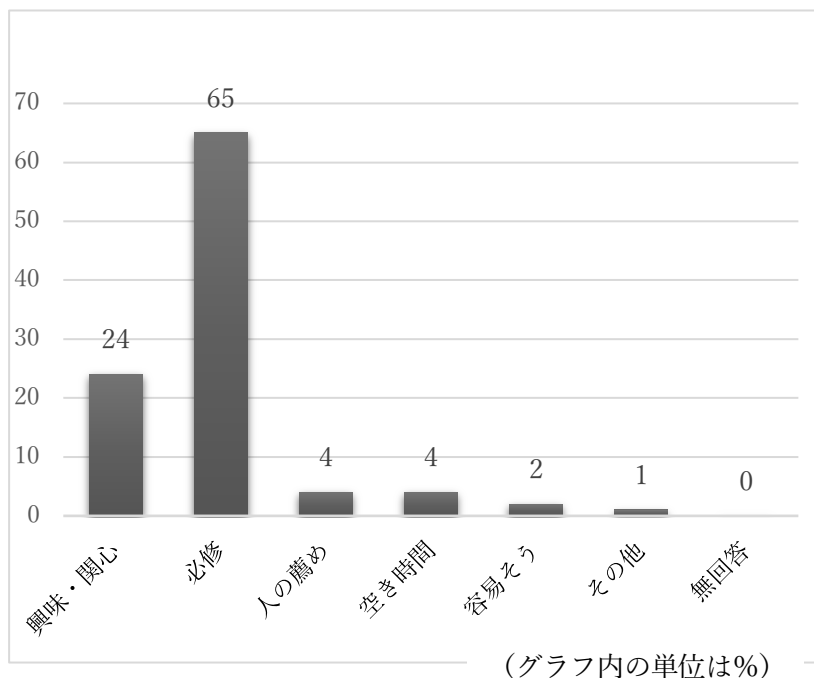
有効回答率については、2019年度前期に比べると低く、80.9%となってしまいました。これまでの調査でも、前期よりも後期において、有効回答率が低くなる傾向にあります。なお、受講生数の規模で比較してみると、受講生数6～20名の科目（実施総数103科目）では85.0%、21～60名（164科目）で83.4%、61～100名（51科目）で79.6%、101名以上（12科目）で74.7%でした。受講生数の多い授業科目で有効回答率の低さ（アンケート回収の難しさ）があらわれる傾向にあり、この点は F D ニュース第89号で紹介した2018年度後期の結果と同様です。

2. 結果

(1) Q1. 「授業を選択した動機について」

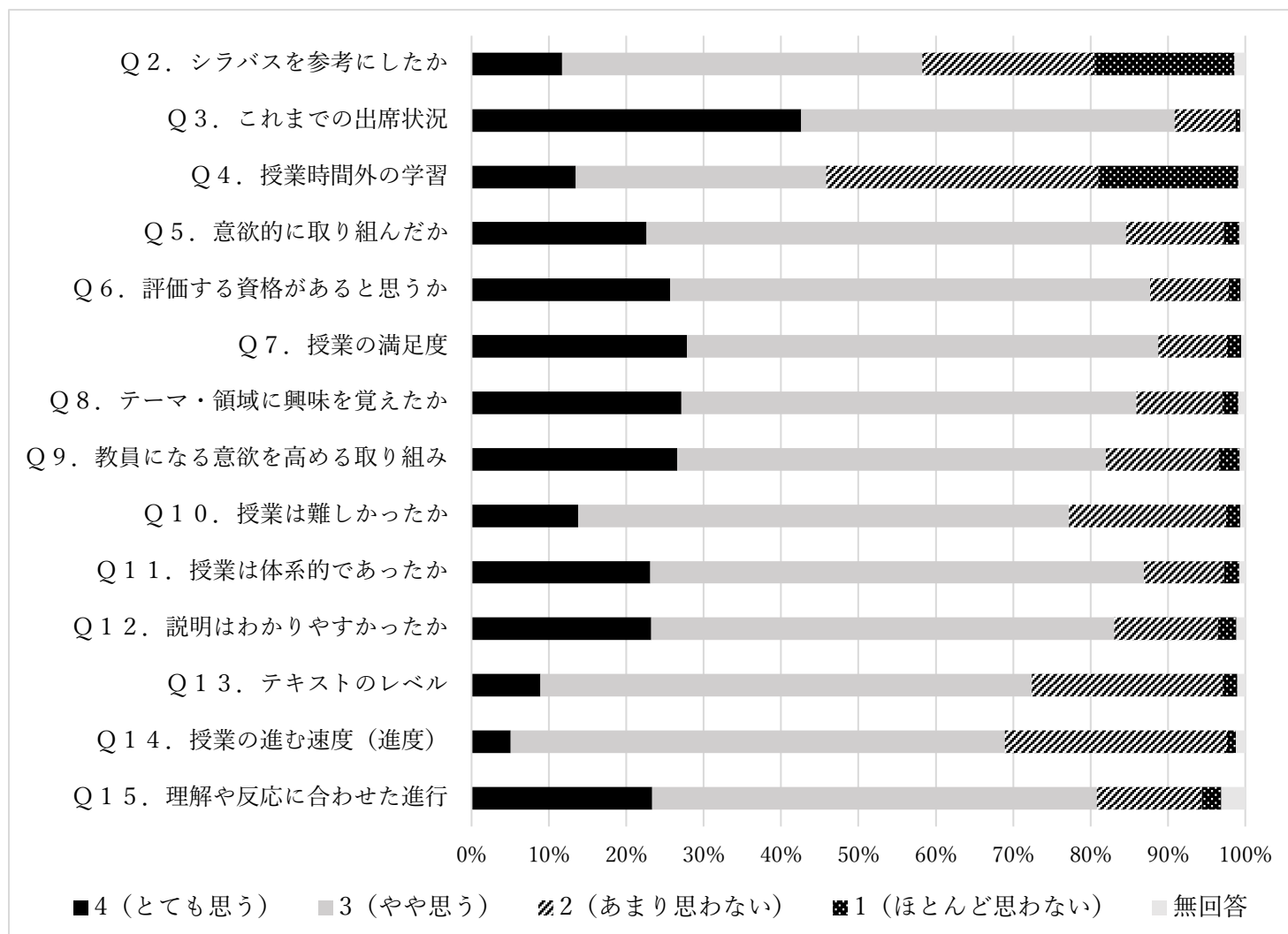
選択の動機（複数回答可）について、その内訳を見てみると、「興味・関心」2740件、「必修」7249件、「人の薦め」431件、「空き時間だから」496件、「容易そう」171件、「その他」108件、「無回答」29件でした。

「必修科目」だからという動機が最も多く、次いで多い順に「興味・関心」「空き時間だから」「人の薦め」「容易そう」「その他」「無回答」となっています。こうした傾向は、2018年度後期と同様です。



(2) Q2. ～ Q15. 全体回答分布一覧

項目ごとの回答分布一覧は下記のような結果となりました。



Q2～Q15のうち、「とても思う」「やや思う」を合わせた肯定的な割合が高いのは、順に「Q3. これまでの出席状況」「Q7. 授業の満足度」「Q6. 評価する資格があると思うか」となっています。なかでも、「Q3. 出席状況」については、90%以上の回答者が「0～2回の欠席」と答えています。

一方、「ほとんど思わない」「あまり思わない」という回答の割合が高い項目は、順に「Q4. 授業時間外の学習」「Q2. シラバスを参考にしたか」「Q14. 授業の進む速度」です。とりわけ「Q4. 授業時間外の学習時間」については、「ほとんど費やさなかった」という回答が約20%あり、「1時間未満」と合わせるとおよそ55%に上ります。

「Q9. 教員になる意欲を高める取り組み」については、肯定的な回答が80%を越えています。

* * *

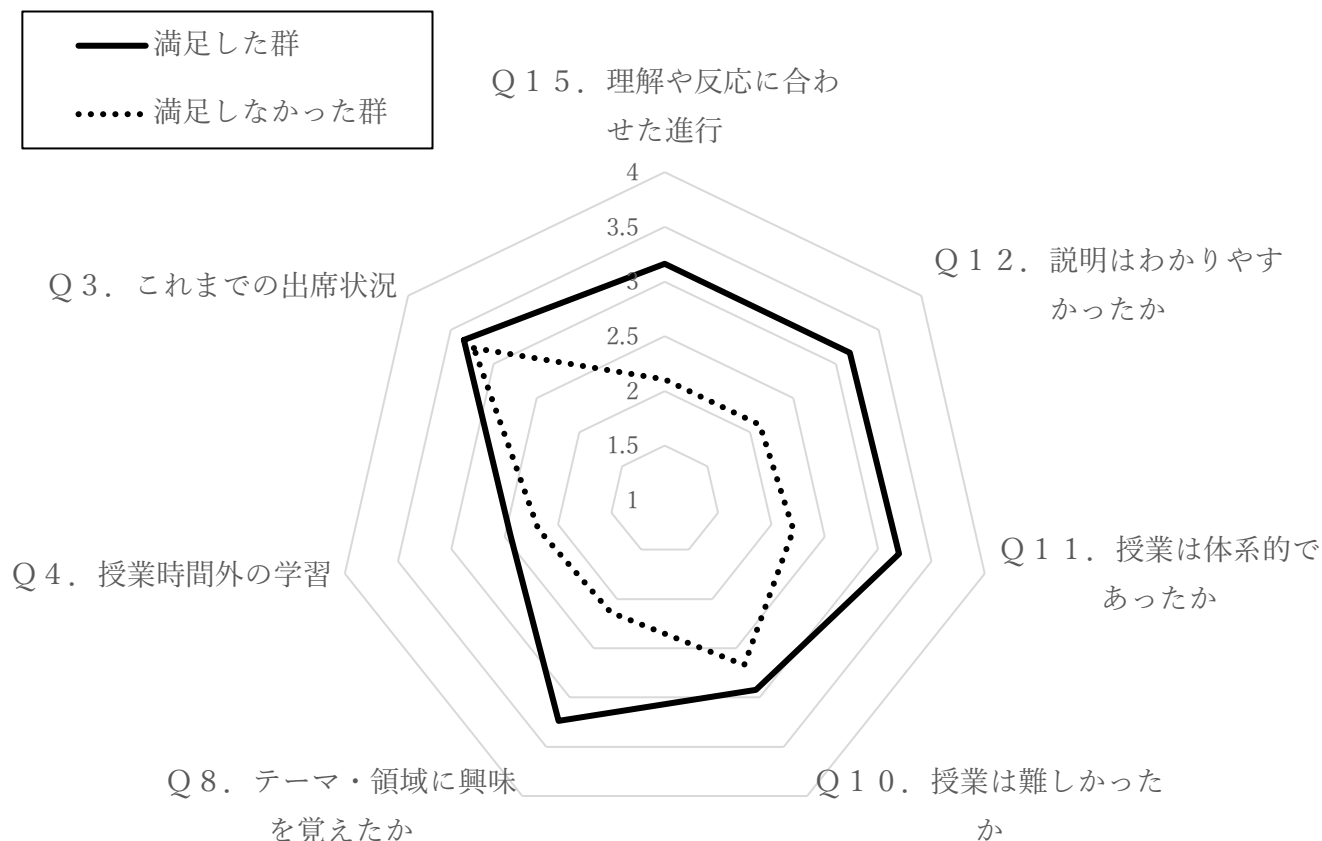
なお、項目ごとの回答数の詳細は下表の通りです。

	とても	やや	あまり	ほとんど	無効・ 無回答	全体 平均	標準 偏差
Q2. シラバスを参考にしたか	1,253	4,984	2,380	1,944	146	2.53	0.92
Q3. これまでの出席状況	全出席 4,558	1~2回 欠席 5,169	3~4回 欠席 845	5回以上 66	69	3.34	0.65
Q4. 授業時間外の学習	2H以上 1,444	1~2H 3,462	1H未満 3,766	ほとんど 1,935	100	2.42	0.94
Q5. 意欲的に取り組んだか	とても 2,420	やや 6,634	あまり 1,356	ほとんど 211	86	3.06	0.66
Q6. 評価する資格があると思うか	とても 2,750	やや 6,637	あまり 1,091	ほとんど 166	63	3.12	0.64
Q7. 授業の満足度	満足 2,980	やや 満足 6,518	やや 不満 958	不満 195	56	3.15	0.65
Q8. テーマ・領域に興味を覚えたか	とても 2,906	やや 6,292	あまり 1,187	ほとんど 228	94	3.12	0.68
Q9. 教員になる意欲を高める取り組み	とても 2,844	やや 5,934	あまり 1,565	ほとんど 287	77	3.07	0.72
Q10. 授業は難しかったか	難しい 1,473	やや 難しい 6,792	やや 易しい 2,176	易しい 192	74	2.90	0.64
Q11. 授業は体系的であったか	とても 2,476	やや 6,826	あまり 1,111	ほとんど 207	87	3.09	0.64
Q12. 説明はわかりやすかったか	わり やすい 2,486	やや 6,410	やや 1,434	わり にくい 255	122	3.05	0.68
Q13. テキストのレベル	難しい 954	やや 難しい 6,797	やや 易しい 2,645	易しい 203	108	2.80	0.61
Q14. 授業の進む速度(進度)	速い 543	やや速い 6,839	やや遅い 3,071	遅い 126	128	2.74	0.57
Q15. 理解や反応に合わせた進行	とても 2,498	やや 6,156	あまり 1,453	ほとんど 270	330	3.05	0.69
Q16. 学年	回答した くない 254	1回生 4,081	2回生 3,407	3回生 2,004	4回生 703	5回生 以上 74	無効・ 無回答 184

(3) 満足度別の分析

「授業に満足した群」と「満足しなかった群」に分けて、他の項目の平均値を比較した図を下に示しています。両群の違いがほとんど見られない項目は、順に「Q3. 出席状況」「Q10. 授業は難しかったか」「Q4. 授業時間外の学習時間」です。

一方、両群の平均値のひらきが大きくなっている項目は、順に「Q8. テーマ・領域に興味を覚えたか」「Q12. 説明はわかりやすかったか」「Q15. 理解や反応に合わせた進行」「Q11. 授業は体系的であったか」です。



こうした傾向は、昨年度とほぼ同様です。講義内容についての興味を引き出すとともに、わかりやすく、学生の理解や反応に合わせた進行をすることや体系的であるということと、学生たちの講義への満足度の関連が高いことが、あらためて浮き彫りとなっています。

FD委員会では、今年度もアンケート調査を実施するとともに、授業改善のための研修会を企画しています。今後ともご協力くださいますよう、お願いいたします。

問い合わせなどについては、下記の委員までお願いいたします。

FD委員会委員：中（委員長）、山口（副委員長）、藤岡、小山、樋口
 事務担当：河原田、村田、長谷川